

2026 年 10 月 2 日

各 位

岩手県矢巾町総合防災訓練において防災トイレワークショップを実施

株式会社 NJS

当社は、9 月 13 日に岩手県矢巾町が主催する「矢巾町総合防災訓練」に参加し、水サポーター制度の一環として防災トイレをテーマとしたワークショップおよび意見交換会を実施しました。

●上下水道の防災減災対策について講演

矢巾町水サポーターは、「公共水道を守るため、主権者である住民と事業者が一緒に考え、意思決定する」ことを目的として設立された住民参加型の仕組みです。将来世代に健全な水道事業を引き継ぐため、子どもや孫の世代の水道について住民自らが考え、学び、議論する活動です。

NJS はこれまで矢巾町の水サポーター活動を支援しており、今回は総合防災訓練に合わせて実施されたワークショップに参加し、講演およびファシリテーションを担当しました。



ワークショップの様子

●防災トイレと被害調査について学ぶ

地震や豪雨などの大規模災害が発生した場合、下水道施設が被災し、通常どおりトイレを利用できなくなることがあります。災害時には衛生環境の確保が重要な課題となりますが、特にトイレの確保は避難生活の質や健康維持に直結するため、事前の理解と準備が重要です。今回のワークショップでは、次の事項を議論しました。

- 災害時に発生するトイレ問題を知る
- マンホールトイレなどの防災設備を理解する
- 地域住民が自ら災害時の行動を考える
- 住民同士で意見を共有し、防災力を高める

過去の災害における事例紹介に参加者が熱心に耳を傾けるとともに、展示されたマンホールトイレや簡易トイレなどを見学しながら活発な意見交換が行われました。

また、当社が開発した管路調査用カメラ機材のデモンストレーションを実施し、災害時のインフラ被災調査についてご紹介しました。



360 度カメラでマンホールを調査

NJS は、今後も自治体や地域住民との連携を通じて、安全で持続可能な水インフラの実現に貢献するとともに、災害に強い地域づくりを支援してまいります。

以上